

申3号

2013年3月ダイヤ改正等に関する交渉(1回目)

1項：各新幹線の高速化については、安全性を確保し万全体制で行うこと！

組合

・E6系が試運転において滑走による停止限界標識を超えた事象の原因と対策は。

・信号システム上問題はない。雪などの悪条件が重なったため滑走につながった。今、原因究明を実施している。

会社

組合

・原因究明できるまで高速運転は認めることはできない！

・原因究明とあわせて、暫定対策として、非常ブレーキ動作時にセラミック粉末を噴射するシステムに変更し、対応していく。

会社

**暫定対策の安全性が確認できず、交渉中断！
暫定対策の安全性の再確認のため走行試験を要求！
次回継続議論！**

**2項：ワンマン運転の基準及び条件を明確にすること！
また安定輸送確保のためツーマン運転の体制を確立すること！**

組合

- ・ラッシュ時などワンマン運転では対応できない線区がある。ワンマンの基準は？
- ・支社は至上命題のようにワンマン化を進めている。本社からの指導か？
- ・ラッシュ時、深夜帯、異常時のことを考え、ツーマン運転の体制を確立すること！

会社

- ・ケースバイケースで明確な基準は難しいが、乗車率などから判断している。
- ・本社から列車を指定するなどの指示はしていない。各支社でワンマン化できる、できないの判断をしている。

**支社・本社連携し、検証を行い、見直すのであれば見直ししていくことを確認！
現場の声に早急に対応していくことを要請！**

「ダイヤ改正」の問題点を明らかにし全職場で検証しよう！